

報告

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の概要について

令和5年8月24日

学校教育課

1 実施概要

- (1) 実施日 令和5年4月18日(火)
 (2) 対象学年 小学校第6学年・中学校第3学年
 (3) 実施教科等

ア 教科に関する調査

- ・小学校第6学年：国語、算数
- ・中学校第3学年：国語、数学、英語

注：「主として『知識・技能』に関する問題」と「主として『活用』に関する問題」とを一体的に問う問題が出題されている。

注：中学校で4年ぶり2度目となる英語の教科調査が実施された。「話すこと」調査については、1人1台端末等を用いたオンライン方式により実施。

イ 質問紙調査

- ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する児童生徒に対する調査
- ・学校における指導方法に関する取組等の学校に対する調査

2 平均正答率の状況（京都市含む）

	国語		算数・数学		英語 ※話すことを除く3技能 (読む・聞く・書くこと)	
	京都府	全国	京都府	全国	京都府	全国
小学校	70	67.2	65	62.5		
中学校	71	69.8	52	51.0	47	45.6

3 結果の概要

○ 教科に関する調査

小学校、中学校ともに、全ての教科で平均正答率が全国平均以上であり、下位層の割合が全国値よりも低い。

○ 質問紙調査

京都府においては、授業におけるICT機器の使用頻度が全国に比べて高い。

4 教科の概要（京都市を除いている。）

- 全国と比較して、D層（下位）の割合は少ない傾向にあるが、算数・数学、英語においてはA層の割合も少ない。
- 領域や観点によって、全国平均を下回っているものもあるが、全国の傾向と大きな違いはない。

(1) 小学校国語

- ・他の領域に比べ、書くことの領域に課題が見られる。図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかをみること（府正答率29.9%、無答率5.0%）に課題がある。

⇒考えの形成を基に記述する資質・能力に関して系統的に指導することが重要。目的や意図に応じて書き分けたり、図表やグラフなどを用いて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりすることが重要。

※上の準備用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。
解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から書きましょう。どちらで行を突えないで、続けて書きましょう。

（条件）
○学校の米作りの問題点については、「川村さんの文章」のグラフ（農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量）と「カード①」のそれぞれから分かることを書くこと。
○問題点の解決方法については、「カード②」をもとにして書くこと。
○六十文字以上、百字以内にとめて書くこと。

【カード①】
6月24日
・思ったより学校の田んぼに雑草が生えてきた。
・このまま雑草が増えたら米のしゅうかくに
えいしょうするのではないかと心配だ。

【カード②】
6月30日
・雑草取りをしているが、農家の田んぼには
見られないほど、雑草の量が増えてきた。
どれくらい増えているのか雑草の量を調べる。
・調査方法 週に1回、農家の田んぼと学校の
田んぼの雑草を取って、量をくらべる。
・調査きかん 7月1日～15日

【カード③】
7月19日
・学校の田んぼでは、雑草の量に対して雑草取りが
追いついていないと考えられる。
・雑草の量と米のしゅうかくの関係について
農家の石山さんに話を聞きに行く。

【カード④】
7月20日
【農家の石山さんのお話】
・雑草に栄養をとられると、米のしゅうかくが
減る。
・雑草が多いと、いねが病気になることがある。
・農家は、さまざまな方法で雑草が生えない
ようにしている。

【カード⑤】
7月21日
【学校でできる解決方法】
・雑草取りの回数を増やす。
・雑草取りの人数を増やす。

【川村さんの考え】
川村さんは、学校の田んぼで取り組んだ米作りについて文章を書こうとしています。次は、「川村さんの考え」と川村さんが選んだ「カード①」から「カード⑤」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

雑草が増える問題が起きたけれど解決してよかったな。米作りのときに記録していたカードの中から選んだカードをもとに、米作りに興味のある人に向けて、問題点とその解決方法を書こう。

川村さん

条件の一つ目、若しくは二つ目を満たしていない誤答が38.0%

(2) 小学校算数

- ・他の領域に比べ、図形領域に課題が見られる。特に、高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること（府正答率27.2%）に課題がある。

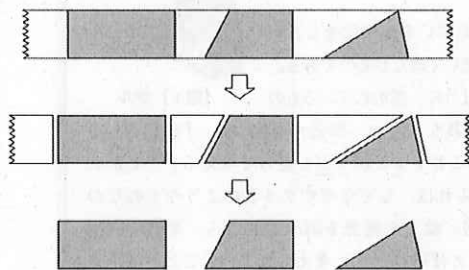
⇒三角形の面積をただ公式に当てはめて求めるだけではなく、日常の場面に対応させたり、言語を用いて互いに説明し合ったりする指導することが重要。

2

えいたさんたちは、テープを持っています。テープの上の直線と下の直線
は平行で、テープのはばはどこも等しくなっています。

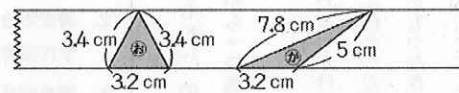


えいたさんたちは、下のようにテープを直線で切って、いろいろな図形を
つくりました。



切り方によって、いろいろな図形ができますね。

(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような㊸と㊹の2つの
三角形をつくります。



上の㊸と㊹の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。

下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ㊸の面積のほうが大きい。
- 2 ㊹の面積のほうが大きい。
- 3 ㊸と㊹の面積は等しい。
- 4 ㊸と㊹の面積は、このままでは比べることができない。

高さについて具体的な長さが示されていないことを記述した誤答が18.9%

(3) 中学校国語

・書くことの領域に課題が見られる。レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを捉えること（府正答率55.5%）に課題がある。

⇒書くことの学習では、相手意識と目的意識を踏まえて書くことが重要。推敲の場面では、その目的と相手に合った書き表し方ができているかという意識で取り組むよう指導することが重要。

- 4 「判じ絵」を調べることにした理由を明確にしようとした。
- 3 「判じ絵」に興味をもったきっかけを明確にしようとした。
- 2 「判じ絵」が現代に伝わった理由を明確にしようとした。
- 1 「判じ絵」を知ったきっかけを明確にしようとした。

一 山田さんは、「1. はじめに」の〰〰〰線部「もち」を「もったため」に直すことにしました。その意図として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

「判じ絵」について

山田 光一

1. はじめに

学校図書館の本で、「判じ絵」というものがあることを知った。「判じ絵」には具体的にどのようなものがあるのか、また、「判じ絵」がいつ生まれ、どのように現代に伝わったのかに興味をもち、詳しく調べることにした。

2. 調査方法

学校図書館、地域の図書館、インターネットで情報を集めた。

3. 調査結果

■「判じ絵」とは何か

「判じ絵」とは、描かれている絵や記号などが何を意味しているかを解読して楽しむものである。

(ア) ただし、【図1】のように、描かれているものと意味しているものとが異なるため、解読する際には、「判じる」こと、つまり、知っていることをもとに「おし量って考える」が必要になる。(イ) 言ってみれば、なぜなぜやクイズのようなものである。(ウ) また、「判じ絵」の起源を調べたところ、平安時代後期から行われていた「ことば遊び」だと考えられていることが分かった。(エ) そして、江戸時代に庶民の間に広まる中で様々なものが生まれ、浮世絵ともつながりの深い文化として定着していったという。(オ) さらに明治に時代が移っても、人々の娯楽として親しまれ、現代でも雑誌の挿絵やテレビのクイズ番組などで見ることができる。

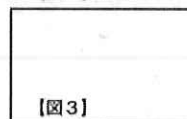
■「判じ絵」の解読の面白さ

「判じ絵」の解読の仕方について、具体的に例を挙げて説明する。



【図2】スズメ

【図2】は、鈴の絵に目が描かれている。描かれているものを組み合わせて解読すると、鳥の「スズメ」という意味になる。



【図3】



【図3】は、

【下書きの一部】

③ 山田さんは、国語の時間に、言葉に関して興味をもったことをレポートにまとめています。次は、山田さんが書いているレポートの【下書きの一部】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

「3『判じ絵』に興味をもったきっかけを明確にしようとした。」の誤答が28.9%

(4) 中学校数学

- ・複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること（府正答率19.8%）に課題が見られる。

⇒四分位範囲や箱ひげ図についての学習の際には、それらが意味することについて、交流し、言語化させるなどの工夫が重要。

7 イチョウの木の大部分の葉が黄色に変わった最初の日を黄葉日^{おうようび}といいます。一花さんと啓太さんは、黄葉日が以前と比べるとだんだん遅くなってきている傾向にあることをニュースで知り、二人が住む地域も同じ傾向にあるのが気になりました。そこで、二人が住む地域の黄葉日を調べたところ、1961年から2020年までの60年分の記録がありました。

二人は、黄葉日の傾向を調べるために、各年の黄葉日を9月30日からの経過日数で表すことにしました。このとき、経過日数は10月1日が1日となり、10月31日は31日、11月1日は32日となります。

そして、二人は次のような表にまとめました。

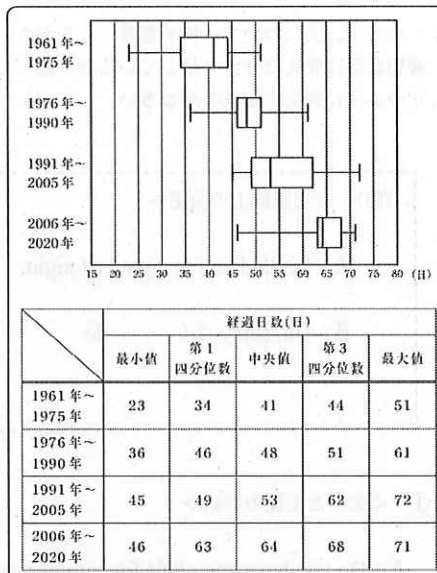
各年の黄葉日

年	黄葉日	経過日数(日)
1961	10月23日	23
1962	11月10日	41
1963	11月10日	41
1964	11月13日	44
1965	11月12日	43
⋮	⋮	⋮
2019	12月10日	71
2020	12月4日	65

二人は、上の表を見て、経過日数が年によって大きくなったり小さくなったりしていることに気づきました。そこで、60年分の経過日数を何年かごとのまとまりで分けて箱ひげ図で表し、それぞれの分布の傾向を比較することにしました。

次のページの黄葉日までの経過日数の分布は、15年ごとのまとまりとして1961年～1975年、1976年～1990年、1991年～2005年、2006年～2020年の4つに分けてまとめたものです。

黄葉日までの経過日数の分布



次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

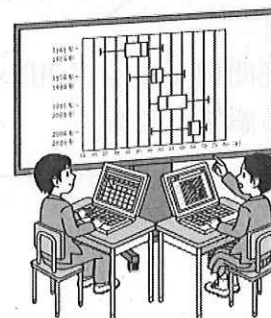
(1) 1961年～1975年の四分位範囲を求めなさい。

(2) 二人は、前ページの箱ひげ図を見て、話し合っています。

一花さん「4つの箱ひげ図を見ると、黄葉日はだんだん遅くなっている傾向がありそうだね。」
 啓太さん「でも、1991年～2005年と2006年～2020年の箱ひげ図は、右端と左端が同じくらいの位置にあるよ。遅くなっているといえるのかな。」
 一花さん「確かに箱ひげ図の右端と左端についてはそうだけど、箱に着目すれば、2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にあるといえるのではないかな。」

前ページの箱ひげ図を見ると、一花さんのように「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、1991年～2005年と2006年～2020年の2つの箱ひげ図の値に着目して説明しなさい。

「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を説明することが求められているのに、その主張に触れていない誤答が19.3%あり、箱ひげ図に関する記述が不十分な誤答が28.0%



(5) 中学校英語

- ・書くことの領域に課題が見られる。与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させること（府正答率22.9%）に課題がある。

⇒目的・場面・状況を踏まえた言語活動を位置付け、授業を展開することが重要。

9

- (1) 次の①、②について、例を参考にしながら、必要があれば（ ）内の語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、それぞれ会話が成り立つように英文を完成させなさい。

(例) <友達同士の会話>

A : I called you at eight last night.

B : Oh, sorry. I (do) my homework then.

〔答え〕 was doing

① <先生と生徒の会話>

A : Do you have any plans for summer vacation?

B : Yes. I (visit) my uncle in London.
I can't wait!

A : Wow, that's nice!

② <友達同士の会話>

A : Oh, you have a new watch!

B : Yes, I got it yesterday.

A : (buy) the watch?

B : At a department store near the station.

疑問詞 where を用いているが、一般動詞の2人称単数過去形以外の疑問文を書いている誤答が32%

R5 中学校・英語 「話すこと」スクリプト

※解答の進め方の説明や録音の練習等については省略

「話すこと」調査の問題は5問あります。問題音声がかかる回数、全て1回です。
解答は、全て英語ではっきりと話してください。



大問1 あなたは、オーストラリアからの留学生ソフィアのために動物園へ行く予定をたてました。今日がその当日です。会話が続いていくように、質問に答えたり、あなたの考えを伝えたりしましょう。指示がある場合は、その指示に従って答えましょう。問題は(1)から(4)まであります。解答時間は(1)から(3)が7秒、(4)が20秒です。それでは、始めます。



(1) A baby elephant! How cute! ... I can read some Japanese. Its name is Taro... it's a boy... and, what does this say?

(解答時間 7 秒)



(2) I was so excited to see the baby elephant. So, what are we going to do next?

(解答時間 7 秒)



(3) Look! Kangaroos! They are really famous in my country, Australia. I know a lot about them. Do you have any questions about kangaroos? Please ask me.

(解答時間 7 秒)



(4) I want to buy a gift for my host brother. He is only 4 years old. Which one should I buy for him, a picture book, animal cookies or a T-shirt? And why do you think so?

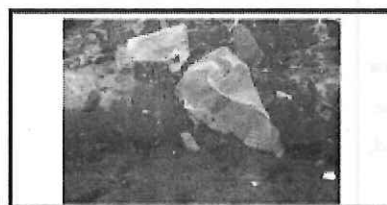
(解答時間 20 秒)

英語「話すこと」調査は都道府県単位の結果は公表されていない。全国平均正答率は12.4%

大問2 英語の授業で、ニュージーランドから来た留学生が環境問題についてのプレゼンテーションをしています。その発表やスライドの内容をもとにして、あなた自身の考えとその理由を英語で伝えましょう。1分間話す内容を考えたあと、30秒で話してください。メモを取ってもかまいません。それでは、プレゼンテーションを聞きましょう。



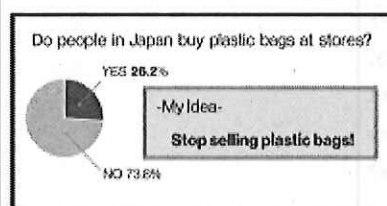
Do you buy plastic bags at the store? Or, do you use eco bags?



Look at this picture. There are many plastic bags in the sea. It is a serious problem today.



Now, look at this. I was really surprised to see this because over 25 % of people in Japan buy plastic bags at stores. In New Zealand, stores do not sell plastic bags and we take eco bags.



Some people may say plastic bags are becoming more eco-friendly, but I recommend stores in Japan should stop selling plastic bags. What do you think?

それでは、話す内容を考えましょう。(考える時間 1分)

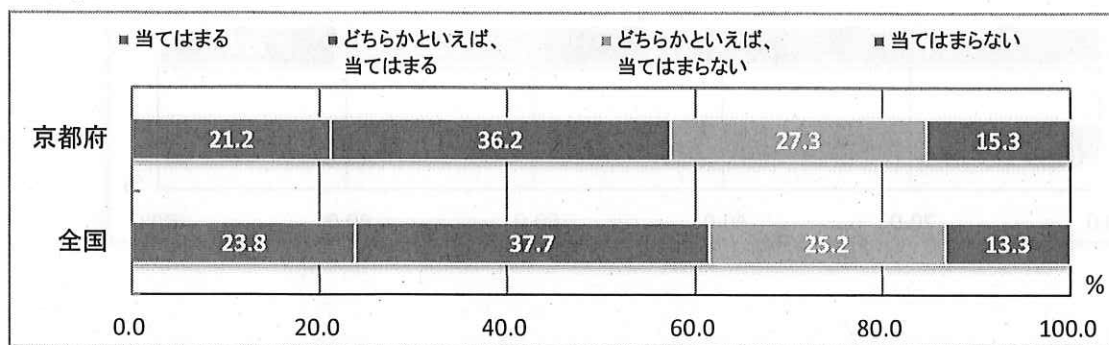
それでは、30秒で話してください。(解答時間 30秒)

5 質問紙調査結果の概要

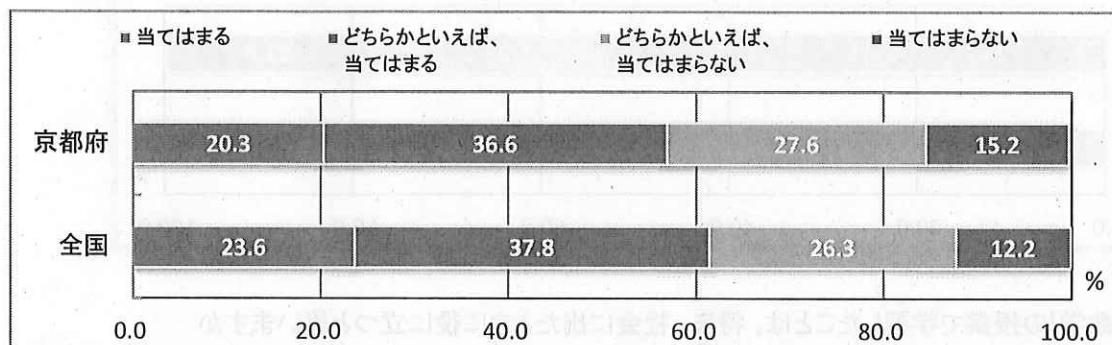
＜児童生徒に対する調査＞

Q 国語の勉強は好きですか

小学校

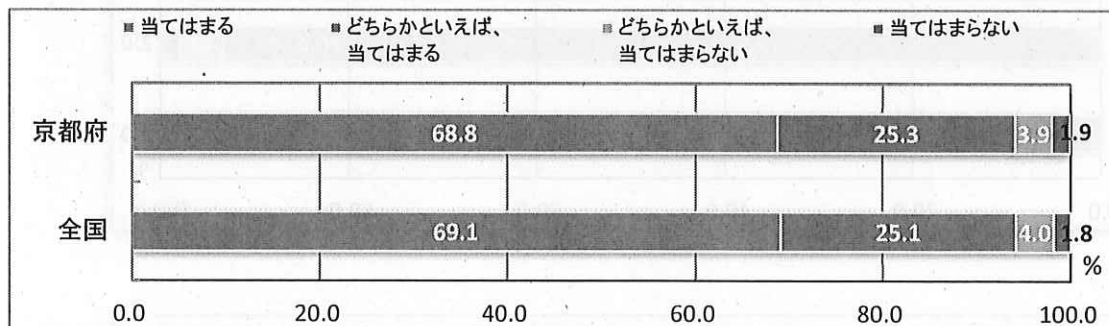


中学校

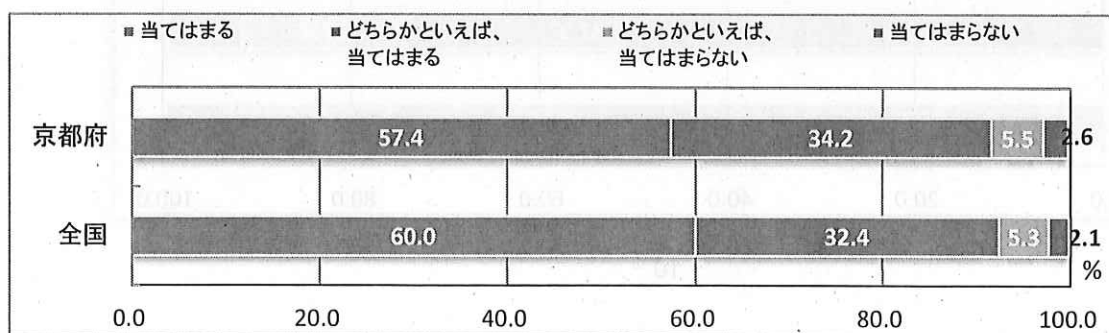


Q 国語の勉強は大切だと思いますか

小学校

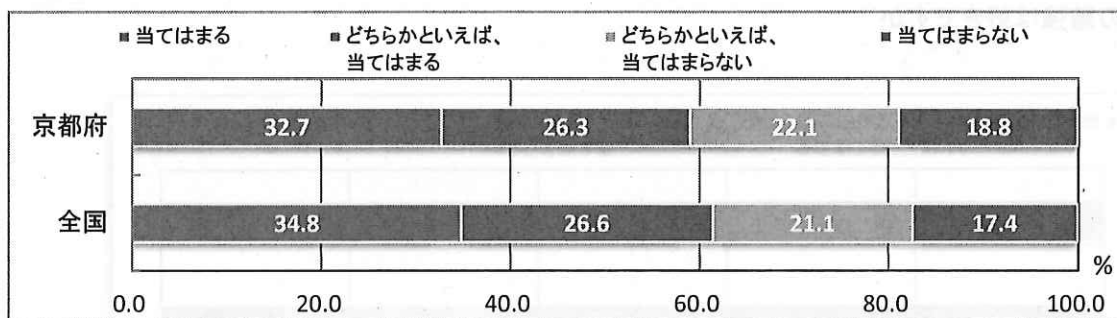


中学校

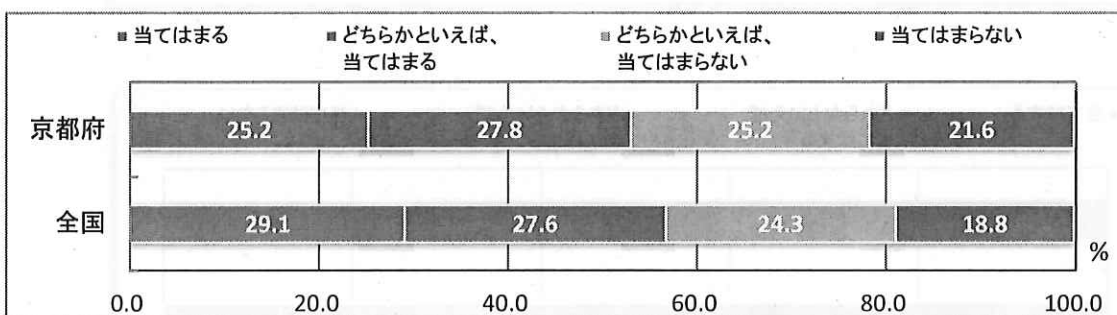


Q 算数[数学]の勉強は好きですか

小学校

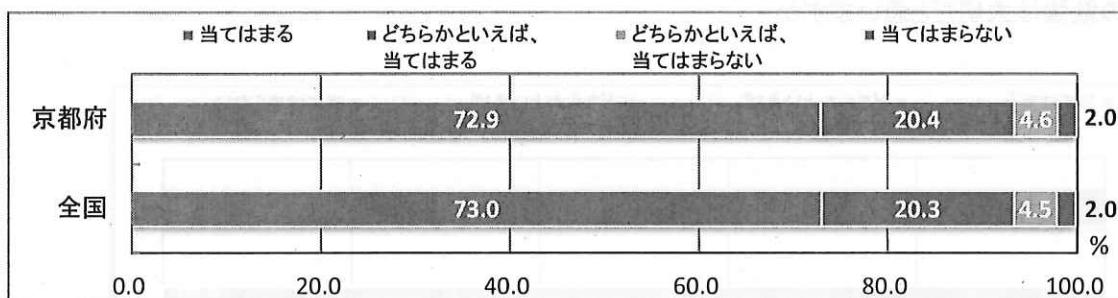


中学校

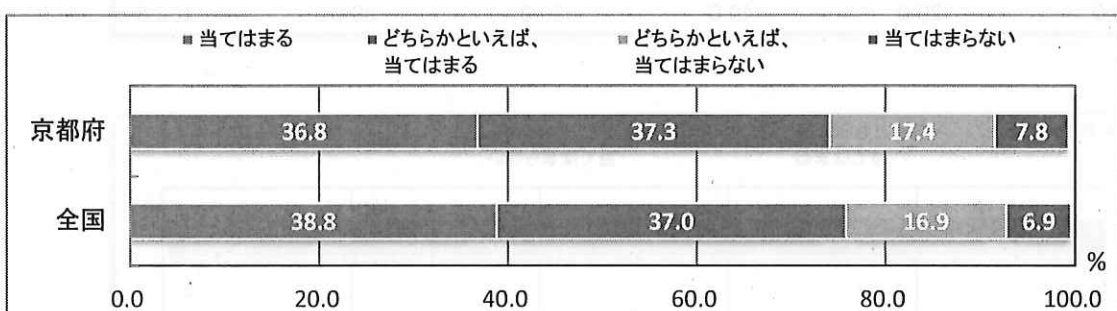


Q 算数[数学]の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

小学校

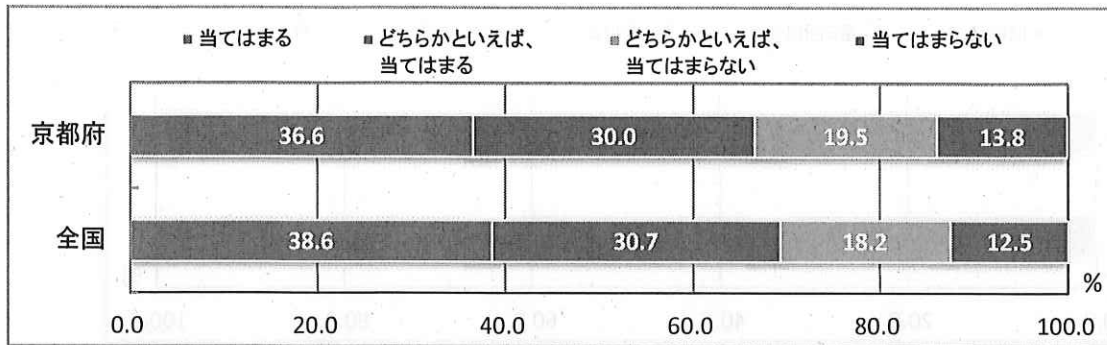


中学校

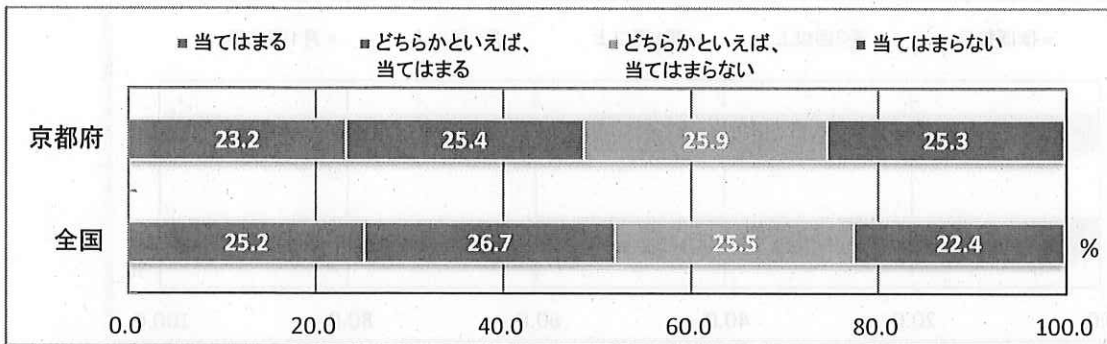


Q 英語の勉強は好きですか

小学校

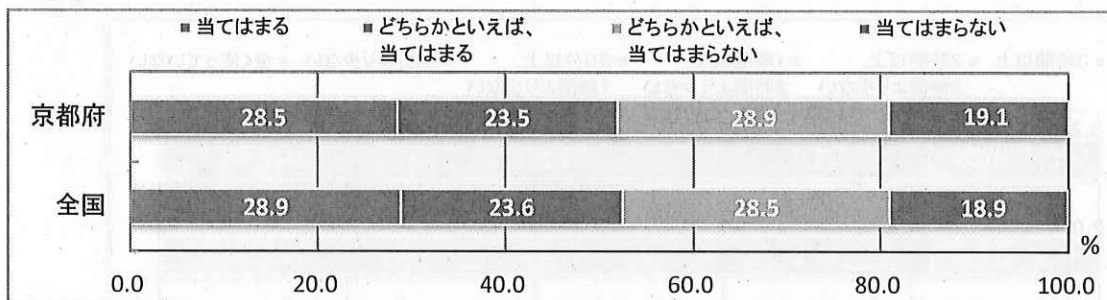


中学校

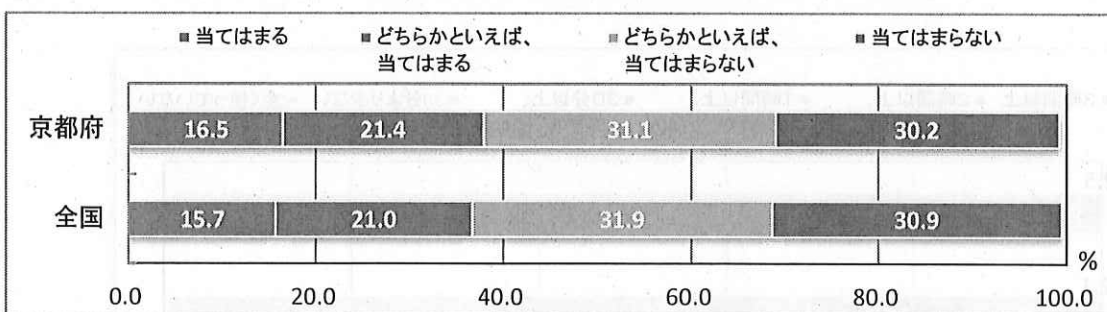


Q 将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いませんか

小学校

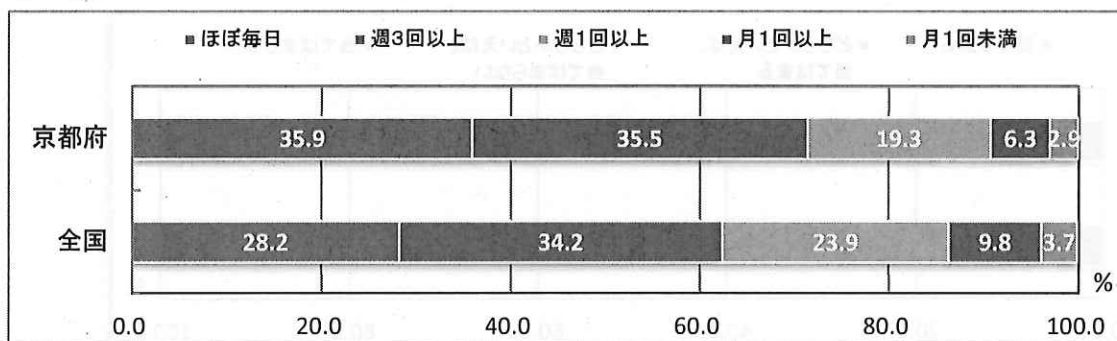


中学校

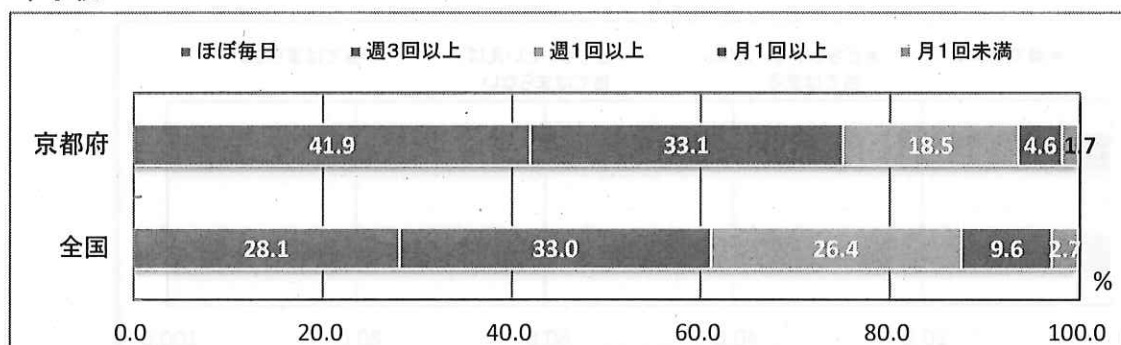


Q 5年生までに[1、2年生のときに]受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

小学校

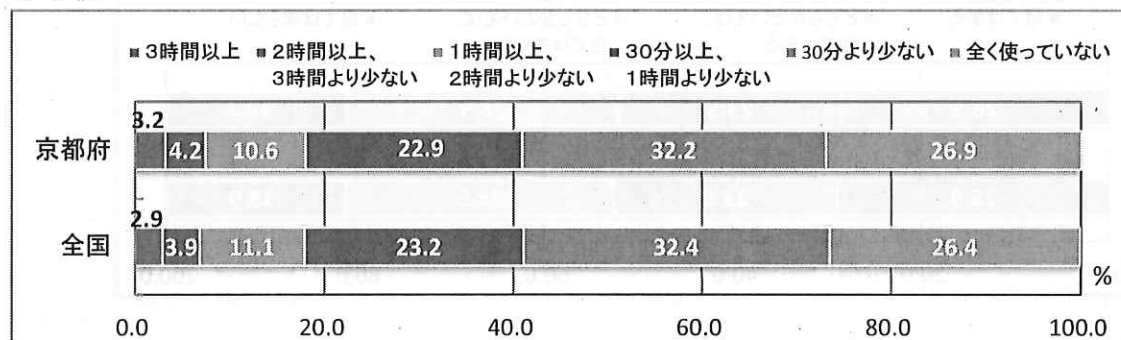


中学校

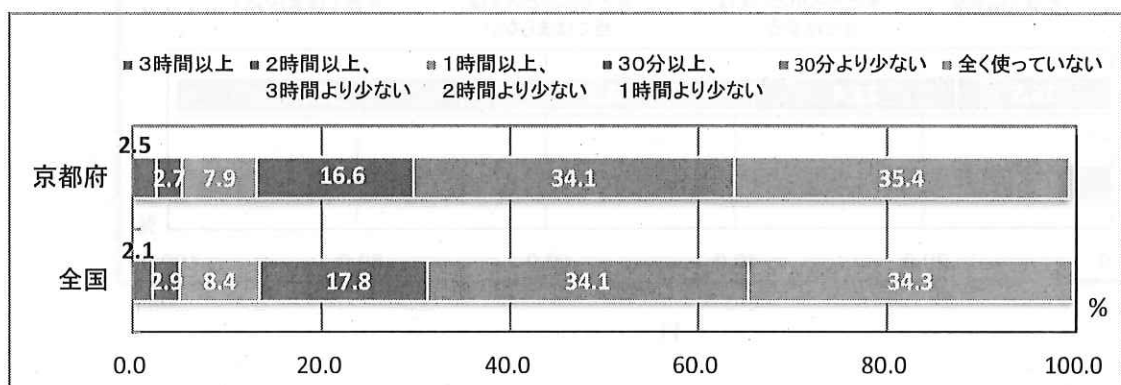


Q 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)

小学校

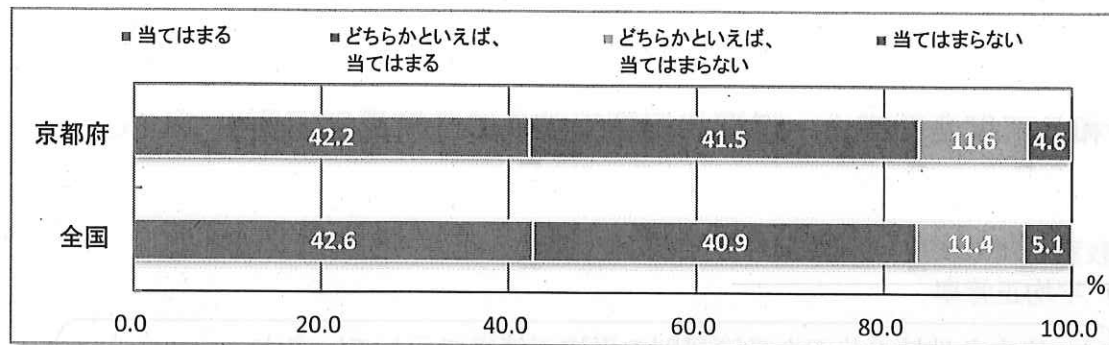


中学校

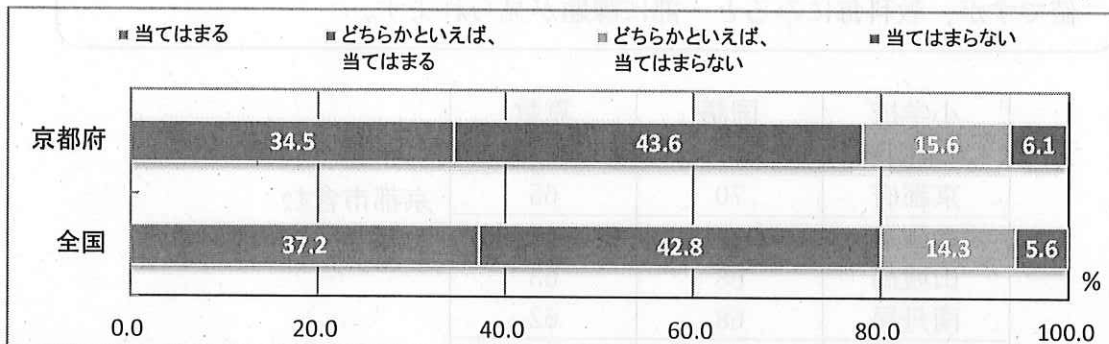


Q 自分には、よいところがあると思いますか

小学校

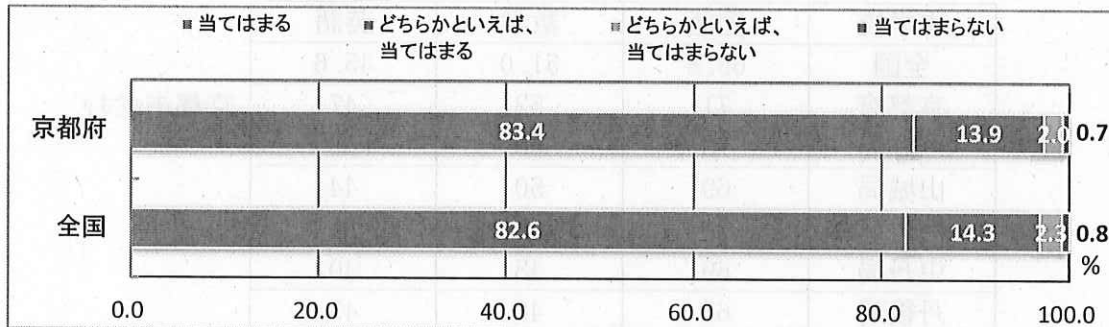


中学校

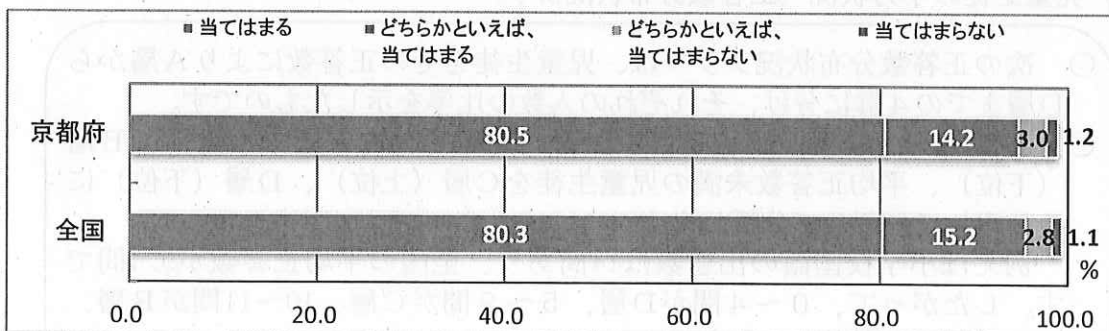


Q いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

小学校



中学校



資料

令和5年度全国学力・学習状況調査結果の教育局別概要について

1 教育局別の状況

(1) 平均正答率

- 府内各地域の状況を教育局別の平均正答率で示しています。
- 各教育局別の平均正答率は、小学校、中学校ともに概ね全国平均に近い値ですが、教科毎にみると一部に課題が見られます。

小学校	国語	算数
全国	67.2	62.5
京都府	70	65
乙訓局	72	67
山城局	68	63
南丹局	68	62
中丹局	69	64
丹後局	66	60

京都市含む

中学校	国語	数学	英語
全国	69.8	51.0	45.6
京都府	71	52	47
乙訓局	73	56	53
山城局	69	50	44
南丹局	70	50	39
中丹局	69	48	40
丹後局	68	46	43

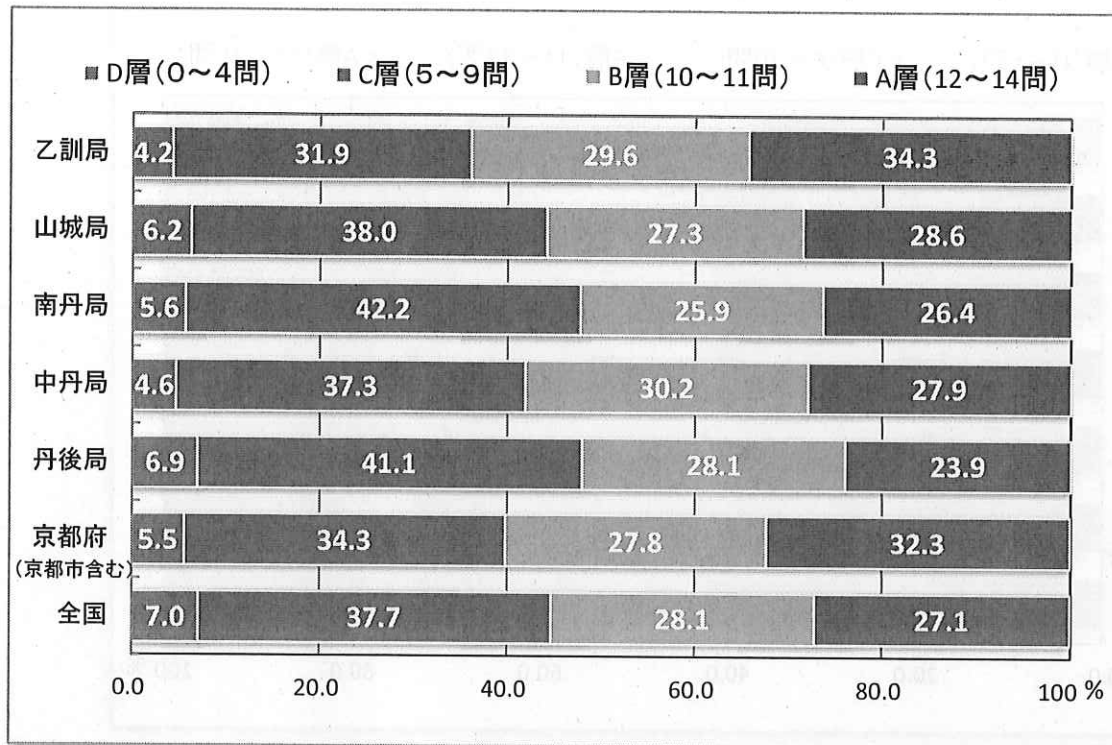
京都市含む

(2) 児童生徒の学力状況（正答数分布状況より）

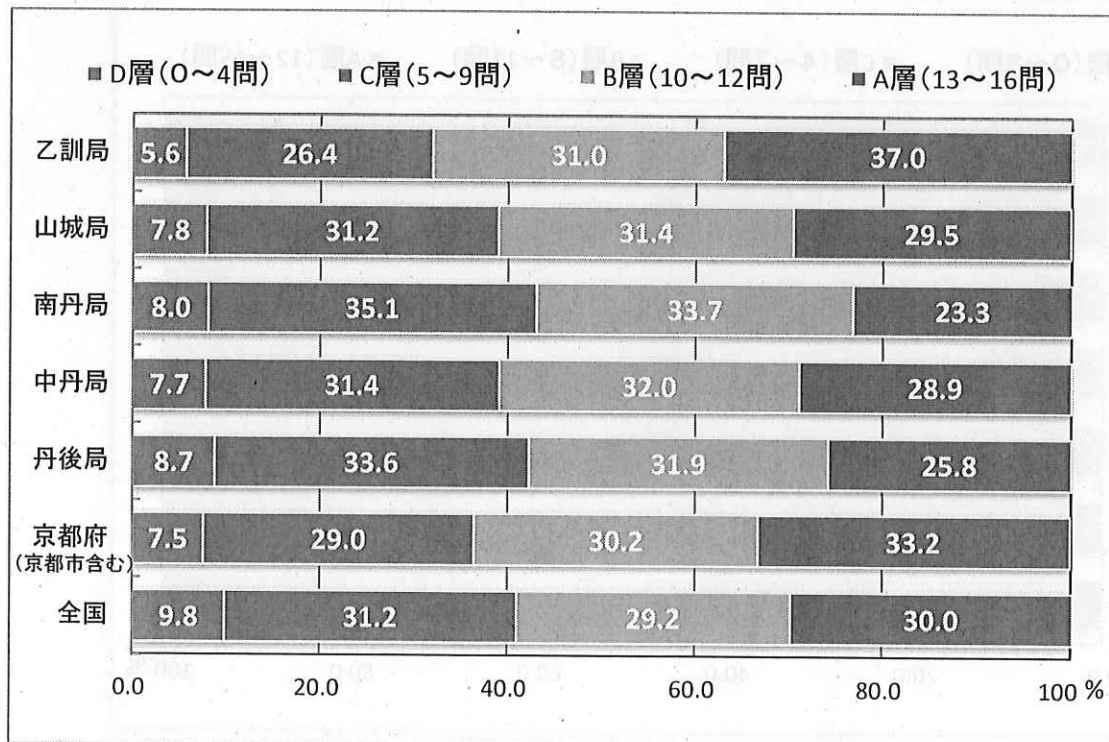
- 次の正答数分布状況グラフは、児童生徒をその正答数によりA層からD層までの4群に分け、それぞれの人数の比率を示したものです。
- 各教科・各年度の平均正答数以上の児童生徒をA層（上位）、B層（下位）、平均正答数未満の児童生徒をC層（上位）、D層（下位）にそれぞれ二分割して分析します。
例えば小学校国語の出題数は14問あり、全国の平均正答数が9.4問です。したがって、0～4問がD層、5～9問がC層、10～11問がB層、12～14問がA層となります。

◆小学校第6学年正答数分布状況

ア 国語

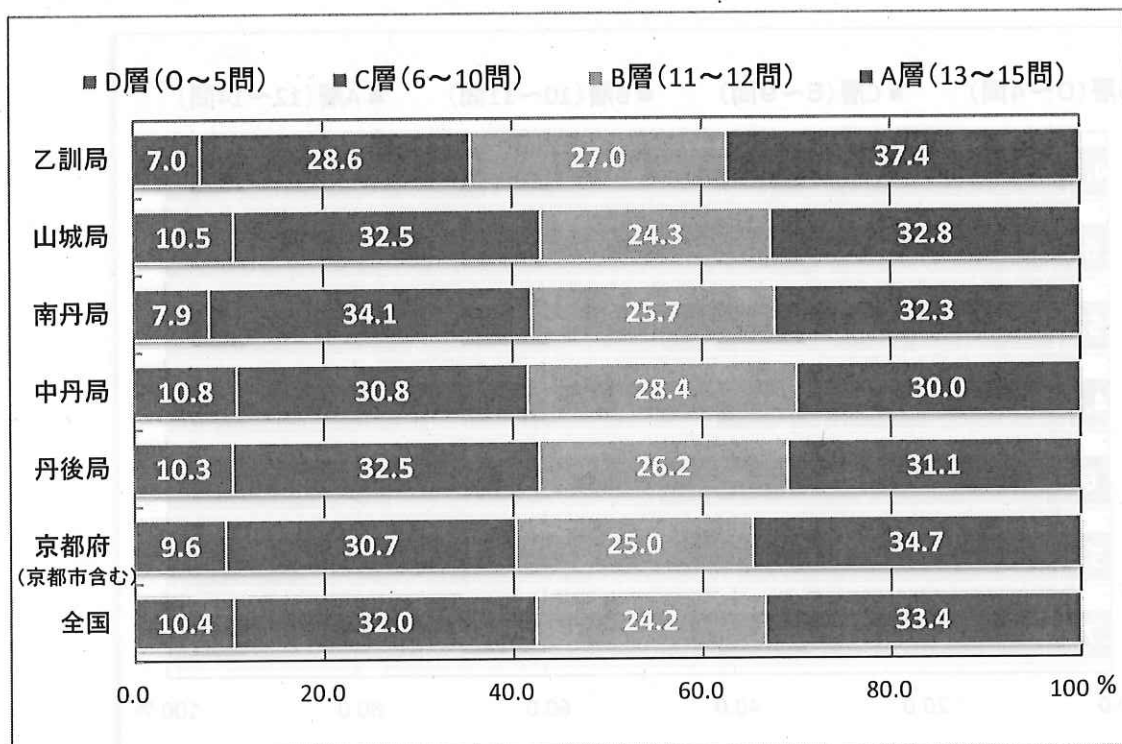


イ 算数

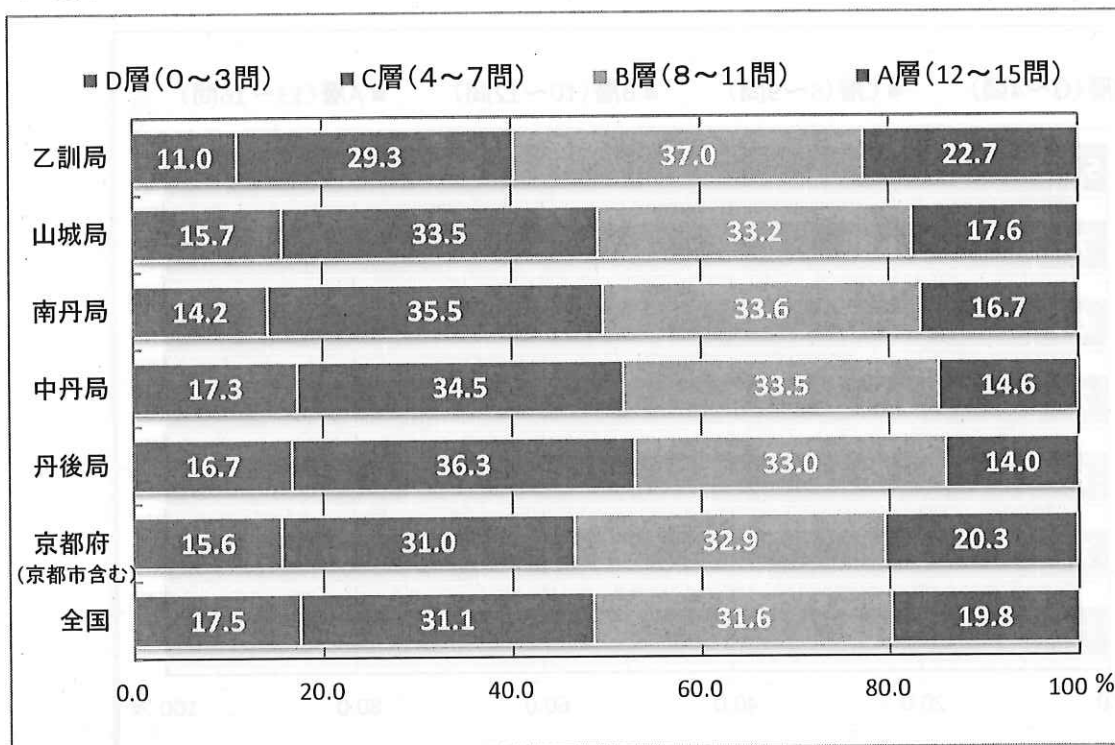


◆中学校第3学年正答数分布状況

ア 国語



イ 数学



ウ 英語

